

【取組宣言】

総合事業による農業振興・地域貢献

2019年5月29日

本県では、少子高齢化や人口減少により農業生産基盤の縮小が懸念され、また、地域の生活基盤の維持も危惧されています。

J Aは、食と農を基軸に地域に根ざした協同組織として、総合事業による農業振興・地域貢献を行っています。総合事業を営むことで、資金や利益が循環し、J A事業の根幹である営農指導・販売・購買事業の充実・強化に繋がっています。

また、「協同組合」とは、組合員の力を合わせて、組合員の農業や生活を守り、よりよい地域社会を築くことを目的とした集まりであり、出資者である組合員は、地域で農業を営み、地域に暮らす皆さまです。

J Aでは、総合事業の強みを活かし、福祉事業や市町村と連携したイベントの開催など、地域の活性化に貢献しています。

今後、J Aでは、総合事業による健全な事業運営を行い、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とした、自己改革に取り組んで参ります。

【自己改革の重点取り組み】

1. 営農ビジョンの取り組み強化
2. 組合員の収入拡大・コスト抑制対策
3. 組合員の結集力強化戦略の策定・実践

⇒次ページ(112～116)に自己改革の取り組みを掲載しております。

農業振興に向けた主な取り組み（JA自己改革）

政府が進める「農協改革」では、「農協は農家の組織。准組合員（主に非農家）の利用は制限すべき」。「JAの農業関連事業は、信用・共済事業に頼らず単独で収益を確保すべき」などの考え方が示されています。

当JA管内（※）は、地理的条件もあり、県内でも農業生産規模が小さく、正組合員（農家）・准組合員の信用・共済事業のご利用から得た収益を活用して、営農振興や地域活性化に向けた事業に取り組むことができます。このように、各事業が支え合って、JA全体の運営を進めて行くことを**総合事業運営方式**と呼びます。

ここでは、当JAが実践する農業振興・地域活性化に向けた取り組みをご紹介しますので、「総合事業運営方式」・「准組合員のJA利用」の必要性についてご理

（※）当JA管内＝いちき串木野市、日置市、南さつま市金峰町、鹿児島市旧松元、郡山地区

農業資材等のコスト削減対策

ジャンボタニシ駆除対策

害虫駆除薬剤の使用を促進し広域で被害を抑制するため、平成29年度から薬剤の特別価格販売を継続的に実施しています。



（取扱実績）

年	kg
H28	2,640
H29	9,596
H30	7,288

※左表の数値は、2kg剤2種と10kg剤の取扱量をkg換算した数量

※各年3月～8月取扱数量です

有害獣対策

イノシシや鹿などの有害獣対策として、行政と連携し、電気柵購入経費助成を実施。

生産資材のコスト低減と被害の軽減に取り組んでいます。



（取扱実績）

年	電気柵本体	延長キット
H30	323台	658組

※1月～10月の取扱数量

JADDOカードによる利用高還元

購買・販売・信用・共済事業等、JA事業のご利用高に応じてJADDOカードポイントを還元しています。

（H30年度付与実績：570万ポイント）



農業資材等のコスト削減対策(県域対策)

推奨品目の選定

J Aグループ鹿児島で推奨する肥料・農薬を選定し、大量仕入れによるコスト削減を実現

肥料

50~470円/袋 引下げ



農薬

平均8.3% 引下げ



農薬大型規格による低コスト化

よく使用される農薬の大型規格の開発をメーカーと共同で取組んでいます。



ジェネリック農薬の取扱

農産物の安全性を維持しつつ、農薬価格低減のため、ジェネリック農薬の導入に取り組めます。



ジェイエースは
オルトランシリーズ
のジェネリック農薬！
約40%コスト引下げ！

農業資材等のコスト削減対策

平成30年度に農業資材等の購入経費助成など、23項目を実施しました。

(品目毎の取り組み)

甘藷

- ・あいさいマルの購入経費助成
- ・土壌消毒剤の購入経費助成

野菜

- ・かぼちゃ種子の購入経費助成
- ・しょうが種子の購入経費助成

水稻

- ・早期水稻種子の購入経費助成

茶

- ・茶農薬の購入経費助成

いちご

- ・親株の購入経費助成
- ・くみあい食品出荷経費の一部助成

デコポン

- ・果樹用肥料の購入経費助成
- ・循環扇導入経費の一部助成

営農ビジョンの策定と実践

2019~2021年度までの営農ビジョンを作成しました。

今後、各生産者部会等へご報告し、生産者と一体となった営農振興を進めます。

「営農ビジョン」とは・・・

当JA管内の生産品目の中から、主要10品目を選定し、目標生産量などの数値計画と行動計画をまとめたものです。

「主要10品目」とは・・・

白ねぎ、かぼちゃ、いちご、しょうが、インショップ向け野菜類、茶、不知火(大将季)、早期水稻(特栽米)、澱粉用甘藷、畜産(肉用牛)

所得増大に向けた対策

管内Aコープに直売コーナーを置き、組合員の生産物を販売することで、農家所得の増大に取り組んでいます。

当JAの少量多品目産地と鹿児島市近郊という立地を活かすため、鹿児島市等の直売所へのさらなる出荷拡大に向けた体制を整備しています。

(体制整備の取り組み)	(直売事業取扱実績)		
	年度	8月末	年度末
・市内物流便の設置 ・バーコード発券機の購入 ・通いコンテナの購入 ・栽培講習会の開催	H28	113, 167	227, 919
	H29	114, 031	234, 905
	H30	117, 937	232, 237

単位：千円



Aコープのインショップ

主な直売所・インショップ

- ・おいどん市場（与次郎店・谷山店）
- ・ふるさと物産館（七ツ島店）
- ・Aコープ（串木野店、大里店、まつもと店、郡山店、日吉店）
- ・COOP（伊集院店）、山形屋ストア（妙円寺団地店）

畜産振興

畜産農家の経営安定を目指し、器具機材の導入を行いました。

直腸式 体温計	体温計を管内の全畜産農家180戸へ配付し、疾病の早期発見・早期治療を目指し、子牛品質の安定と農家所得向上を目的として事業を展開しました。
冷凍 ストッカー	管内肥育農家の鹿児島黒牛・黒豚の販売促進を強化しました。年間で各地区の10イベントに参加しました。（貸出し可）



配付した体温計



冷凍ストッカー

農家所得向上・管内肥育牛増頭対策として、補助事業を活用した農家支援を展開しました。

畜産クラスター事業 (1/2補助)等	機械・器具等の導入支援 (関係機関と連携した対策)
肥育牛増頭対策	管内肥育牛の増頭を目指し、預託家畜利息の見直しや、預託利息の補てんを行いました。
ICT(情報通信技術)の活用による 生産性向上	繁殖牛の分娩間隔の短縮による子牛出荷の増頭を目指し、発情発見機等の機器導入を推進しています

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会(霧島)に向け、9月に地区推進協議会を設立しました。



農政活動

農畜産物対策に関する中央要請

平成30年7月、本県JAグループ・県農政連は、「平成31年度農業関係予算」に関する要望書を農林水産大臣に提出しました。

県選出国會議員が国の農政の中核におられることもあり、JAグループ鹿児島が要請した多くの支援対策や予算確保が実現しました。



農相室にて要望書を提出



管内各行政の農政担当

管内行政の農政部署との連携

平成30年7月、当JAや管内行政で構成する「農政協議会幹事会」を開催しました。

会では、水稻害虫駆除薬剤や有害獣対策資材の普及による被害抑制と農業生産の拡大に向け、継続的に連携していくことを確認しました。

食農教育活動



【出前授業】 小学校・幼稚園等で、農産物の知識・育て方の指導や指導に係る資材を提供。
今年度は、農家青年部と協力しながら実施
(管内10校・6園で35回)

【ちゃぐりんスクール】 小学生が対象で、調理体験や食・農業に関する施設見学

地域貢献活動・ふれあい活動

支所を拠点とした地域貢献活動や地域・組合員とのふれあい活動を行なっています。

(平成30年度)

JA全体で172活動を計画・実践しています

【主な活動】

- ・女性部会による食農教育や高齢者声かけ訪問
- ・青年部会による児童福祉施設への農産物寄贈
- ・JA職員による海岸・ダム・地域清掃・交通安全指導など地域と連携した活動を実施しています



組合員（農家青年部会・女性部会）による地域貢献活動

中堅・若手農業者で組織する「JA青年部会」や、女性組合員で組織する「JA女性部会」は、これまでも「地域の活性化」に繋がる自主的な取り組みを実施していますが、さらなる地域の活性化を目指し、2018年度から共同での取り組みも行っています。



共同活動に向けた意見交換会



JA来所者へのおもてなし活動

青年部会の活動



地元児童福祉施設への農畜産物寄贈

女性部会の活動



10年以上続く高齢者への声かけ訪問



地元保育園での食農教育活動



JA支所で七草粥の提供